

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	入間市児童発達支援センター			
○保護者評価実施期間	令和8年1月21日 ～ 令和8年2月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	令和8年1月21日 ～ 令和8年2月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	根拠のある個別支援計画に沿った支援を行い、利用者の満足度が高いこと。	・ 方法論やアセスメントツール（KIDSスケール・ESDMチェックリスト・感覚プロファイル等）を取り入れ、個に応じた個別支援計画を作成し提供している。 ・ 保護者に、支援の内容について根拠をもって丁寧に説明している。	・ 記録や担任のアセスメントを評価し、現状の課題分析を常に行う。 ・ 療法士のアセスメントを支援計画に反映させていき、専門性を高めていく。
2	職員研修を実施し療育の質の維持・向上を行い、また緊急時の対応訓練も行っている。	・ 受託事業者代表（臨床心理士・ESDMセラピスト）による定期的な専門研修を実施している。 ・ 療法士（PT/OT/CP）による指導・研修がある。 ・ 避難訓練や業務継続計画を定期的に実施している。	・ 職員からの希望を研修内容に取り入れる。 ・ 必要に応じて外部研修に参加する。 ・ 緊急時の対応訓練を引き続き実施する。
3	環境が構造化され整備されている。	・ 視覚支援の充実やパーテーション等を利用し構造化された支援環境を提供している。 ・ 巧技台やトランポリン、ブレイルームや園庭等遊具や設備が充実している。	・ パーテーションの活用や配置を工夫し、療育中に適宜環境設定を構造化する。 ・ 安全マニュアルに基づき、遊具や設備関係の定期的な安全点検を実施する。適時消毒も実施し衛生管理も整えている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流会の周知が薄かった	交流会の案内文をご家庭に配布し、掲示も行ったが対象の方への周知が薄かった。	・ 開催の案内文配布と掲示は継続していく。 ・ 各ご家庭に口頭でも伝えていく。
2	活動プログラムの保護者へのアプローチ不足	お子さんの課題や発達状況に応じた活動プログラムを計画し実行してきたが保護者へアプローチ不足だった。	・ お迎えのフィードバック時や面談時、モニタリング時等に積極的に伝えていく。
3	事業所に関する自己評価結果への発信が弱かった。	モニタリング時に説明を行ったり、ホームページに掲載したが伝わりづらさがあった。	・ 資料の掲示方法や場所を検討し目につくよう改善していく。